

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第128号



2017年5月15日発行

docomo

au/ソフトバンク

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



私たちの歴史を開くために ～横須賀三浦地域労働学校 ダイジェスト～

3月から5月まで横三労連と学習協の共催で横須賀三浦地域労働学校が開催されました。今期のテーマは「私たちの歴史をきりひらくために！」。その講義の内容を3回シリーズで紹介します。第1回目(3月11日)は「歴史を動かすのは誰か」、講師は鎌倉逗子学習会議長・児島晃氏。講義内容は以下の通りです。

- ・始めにマルクス『経済学批判・序言』を引用しながら唯物論と弁証法にもとづく歴史観・社会観＝史的唯物論について説明。その時代の生産関係の総体が社会の経済構造をかたちづくる。これが現実の土台であり、この土台の上に上部構造として法律、政治的構造ができあがる。また、この土台の上に社会的諸意識(イデオロギー)が形成される。生産力の発展が社会変革の根本原因であり、発展した生産力に見合う生産関係構築を目指す変革のたたかいが始まる。
- ・ヨーロッパの古代・中世・近代の歴史は民族交代の歴史であるのに対して、日本の歴史は一民族のなかで完結している。
- ・前近代の歴史について解説。原始共同社会、古代奴隷制社会、封建制社会。日本の歴史にも社会の発展と法則がつかぬかれている。

メーデー集會に15団体200名！

今年のメーデーは、開始時は写真の通り雨は降っていませんでしたが、その後雷雨となり、舞台下の横断幕が破れてしまうという前代未聞の天気になってしまいました。

雷雨にめげず、各団体代表は、力強く決意表明を行い、デモ行進に移りました。

デモ行進でも、警察の余計な口出しで宣伝カーの配置を変えられ、ベース前までシュプレヒコールができない事態となりましたが、デモ参加者はそんな事にめげず、元気にシュプレヒコールを上げながら、基地の街を行進しました。

来賓として、市民連合の岸牧子さんと、畑野君枝代議員も参加され、ご挨拶を頂きました。



第60回の平和行進、三浦・横須賀へ

今年も5月14日に、平和行進が三浦・横須賀入りをしました。記念すべき第60回になること、国連で核兵器禁止条約の論議が進んでいること、北朝鮮をめぐる情勢が緊迫し、横須賀に原子力空母と原潜が入り出す状況の中、賑やかな平和行進となりました。

全国通し行進者の中には、アメリカの女子大生ケイラ・ウォーリーさんがいて人目を惹いていました。また横須賀の被爆者代表の方は、平和行進史上最高齢の、88歳とおっしゃっていました。横須賀市は、休日を理由に職員が出て来ず、市長のメッセージを、横三労連の藤枝さんが代読しました。平和行進に公安警察が2人張り付いていたのも初めての事で、共謀罪成立を見込んでの動きと思われます。